

第2期事業報告書  
(令和元年5月1日から令和2年4月30日まで)

特定非営利活動法人結ネットたんぽぽ

## 1 事業の成果

本法人の目的及び事業に対する社会の要望に応えるため、本年度においては高齢者等の居場所「おしゃべり日和」を開き、そこでのふれあい活動を中心に、集落居場所の運営支援、新たな居場所開設の支援を行いながら、暮らしの中のちょっとした困りごとを把握し、支え合い活動に繋げた。また、これから時代に沿った支え合いの仕組みづくりや介護予防推進のため、五ヶ瀬町から生活支援コーディネーター業務と介護予防推進業務を、五ヶ瀬町地域づくりネットワーク協議会から地域の安全・安心確保実証業務を受託し、行政、関係機関、民間事業所等との連携にも力を入れて活動を行った。更には、生活圏域を越えての連携・共同事業や将来を担う子ども達との関りを深める活動にも取り組んだ。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 居場所事業

ア これまで週3回だった「おしゃべり日和」を今期は週5回開所。多くの高齢者等が足を運び、おしゃべりをしながら、折り紙や手芸、オセロ、ビー玉ゲーム、カラオケなどをそれぞれに楽しみながら過ごされた。子育て支援センターを始め、商工会、社会福祉協議会、中高生、ボランティアなどの協力を得ながら異世代ふれあい交流や様々な体験も多く取り入れた。特産センター五ヶ瀬の移動販売と町立図書館がコラボして取り組んでいる「五ヶ瀬マルシェ」も週2回来所されることで、買い物と本を借りることができますとして大変喜ばれている。しかし、2月下旬から新型コロナウイルス感染予防対策のため約40日間の閉所。閉所中は個別訪問や電話、手紙発送などによる見守りを行ったが、外出できないことで体力低下、認知機能低下が著しく現れた高齢者もあり外出先の重要性を改めて感じた。一方でこれからは様々なウイルスや感染症と共に存しながらの生活となることから、今回の新型コロナウイルス対策やそれに伴う影響等の経験値を基に、今後の居場所運営の在り方も検討していく必要性もあると感じている。

◎開所日：週5回（土、日、年末年始、祝日を除く）

※209回 延べ利用者2820名

\* 5月 8日：自然の恵資料館へ特別展見学にお出かけ

\* 5月23日：中央保育所へ人形劇見学にお出かけ

\* 6月12日：アロマワックス作り体験

\* 6月21日：五ヶ瀬中等生との流しそうめん交流

- \* 7月 3日：子育て支援センターとの七夕交流
- \* 9月 11日：子育て支援センターとのふれあい運動会
- \* 10月 2日：かんなくずフラワー アート体験
- \* 10月 10日：子育て支援センターへ音楽交流にお出かけ
- \* 10月 25日：交通安全教室
- \* 11月 12日：子育て支援センターとのほのぼの交流
- \* 12月 11日：水炊き（鍋）交流
- \* 12月 18日：商工青年部サンタクロースと交流
- \* 1月 9日：子育て支援センターとの昔遊び交流
- \* 1月 31日：ボランティアギター演奏
- \* 2月 3日：子育て支援センターとの豆まき
- \* 2月 3日：ボランティアギター演奏
- \* 2月 14日：イベントカフェ ランチにお出かけ
- \* 5/22、7/24、8/22、11/13、12/4、1/29：医大生受け入れ

イ 集落の居場所運営、支援を行った

- \* 牧の居場所…月1回（9時～15時）
- \* 内の口の居場所…月1回（9時～15時）
- \* 長迫の居場所…月1回（9時～15時）
- \* 本屋敷の居場所「よこいび」…月1回（午前のみ）
- ※集落行事や新型コロナウイルス感染予防対策で中止の月もあった。

ウ 新たな集落居場所の開設支援を行った

- \* 寺村の居場所…5月から（9時～15時）
- \* 2区の居場所…1回のみ
- \* 4区の居場所…12月から（午後のみ）
- \* 12区の居場所…12月から（9時半～14時）
- \* 笠部の居場所…1回のみ
- \* 鞍岡の居場所…月1回（9時～14時半）
- ※新型コロナウイルス感染予防対策で中止の月もあったが、上記のうち4ヶ所は今後も継続。

② 見守り事業

- ア ひとり暮らしや高齢者世帯を始め、住民や行政から気になる情報が入った際や、新型コロナウイルス感染予防対策の自粛期間に、個別訪問や電話、手紙等による見守り、声掛けを行いながら、異常の早期発見、早期対応に繋げた。

③ 助け合い事業

- ア たすけ愛たんぽぽ

誰もが住み慣れた地域で安心して過ごせるために、暮らしの中のちょっとした困りごとをお互いさまの気持ちで、会員同士で解消する助け合い活動の試行に取り組んだ。

\*利用者1名（95歳男性）：6回（金融窓口、買い物、床屋、お出かけ等）

#### イ 支え合い活動支援

\*社会福祉協議会と地域福祉委員会（みごかせ会）が主催する「加勢の日」に参加し高齢者宅訪問やお茶のみ場の支援に取り組んだ。

\*廃校になった校舎や園舎を拠点として活用していく協議の場に参加して、様々な情報を提供し参加者と共に考える活動を行った。

\*高齢者等の買い物支援としてサロン会場や居場所に移動販売を行っている「五ヶ瀬マルシェ」の現状把握と情報交換の場を創出し、課題対策のための検討を行った。

### ④ 情報発信事業

ア 「おしゃべり日和」の様子等をフェイスブックで発信し、集落居場所の様子や案内については、個別配付用チラシ作成や、生活支援コーディネーター便りを活用した。また、町の地域ケア会議にも出席して専門職への居場所等の情報提供を行った。

### ⑤ 異世代交流事業

#### ア あいであ広場の開催

町の将来等を中高生の視点で考え行動する場として、あいであ広場を7回開催した。その一環で、中高生発案の赤谷商店街の未来を考える「赤谷冒険アクティビティ」を主催し、多くの小中高生が赤谷商店街周辺を自分の足で歩き、気づいたことやアイデア等を話し合うことができた。

### ⑥ 認知症、介護予防事業

#### ア 訪問活動

今期は町から受託を受けた介護予防推進員が主となり、おしゃべり日和や集落居場所での予防活動はもちろん、社会福祉協議会が主催するいきいきサロン会場や集落、世帯への個別訪問も積極的に取り組んだ。農協婦人部総会での講話要請があり、各会場を回っての講話が大変好評だった。介護予防推進員が訪問できない集落居場所についてはそれぞれの会場担当者が予防に繋がる体操、ゲームなどを取り入れて活動した。

### ⑦ 広域連携事業

#### ア みんなのくらし支え合い協議会活動

当法人は支え合い活動の経験が浅いが、住民が主体となった「助け合い・支え合い」の仕組みを創出するため、協議会主催の勉強会や情報交換の場に参加し、経験豊富な構成団体等からの貴重な学びの機会を得ることができた。

- ・4月25日：みんなのくらし支え合い協議会の説明会及び意見交換会（宮崎市）
- ・11月18日：日向、東臼杵ブロック社会福祉協議会主催の研修会講師（椎葉村）
- ・9月2日：勉強会及び情報交換会（都農町）
- ・1月8日：勉強会及び情報交換会（都農町）

#### ⑧ 研修事業

##### ア 事業推進勉強会

事業推進のため、SNSの活用等について勉強会を行い、町主催のボランティア養成講座や町ボランティア連絡協議会研修にも積極的に参加した。また、生活支援コーディネーター研修や介護予防推進のための視察研修にも参加して日々の業務に活かした。

#### ⑨ その他理事会で実施を決定した事業

##### ア 地域の安全・安心確保実証事業（五ヶ瀬町地域づくりネットワーク協議会から受託）

高齢者の集う場所の提供と交通弱者の課題解決のための実証を行い、本町の高齢者福祉の観点から意見をまとめた。

\*事業期間：令和元年10月～令和2年2月

- ・高齢者が集う場所の提供：集落居場所5ヶ所13回
- ・高齢者へのアンケート調査と分析：78名分

#### （2） その他の事業

実施なし